MONICO

與謝野寛

青空文庫

〔MONICO《モニコ》！MONICO！TRE，S《トレ》JOLIIE《ジョオリイ》！〕
今夜もモニコで飲み明(あか)そ。
派手な巴里(パリイ)に住みながら、
MONMARTORE《モンマルトル》に住みながら、
一人で寝(ね)るのも気が利(き)かぬ。

おお、行く程(ほど)に、さる程に、
人(ひと)をば促(そそ)る火の明り。
赤い嵐がそよそよと
恋に焦(こが)れて吹くやうな
扇の形(かた)の火の明り。

合せ鏡の中(なか)にある
曲れる、曲れる、梯子段(はしごだん)、
一段(いちだん)のぼればよろよろと、
二段(にだん)のぼれば恐らくは

生きて帰らぬ「夢」の塔。

二時を過ぎたる真夜中も、
此処（ここ）はSABBAT《サバア》のまつさかり。
土耳古、仏蘭西、西班牙（エスパニョル）、
意気なBASSE《バツス》にCASTAGNETTE《カスタネツト》、
RYTHMES《リトム》D'AMOUR（ダムウル）、しよんがいな。
赤い裾の踊子（バスクダンスウ）、
あれ、まんまろく拡がれば
時を択ばぬ花が咲き、
黄金（きん）と、紫金（しこん）と、銀（アルジヤン）の
虹をば飜（かへ）すあの上衣（ロオヴ）。

そこの隅（すみ）ではひそひそと
ちよいと此間（このま）に一（ひと）BAISER《ベイゼ》。
見て見ぬ振のてれかくし、
前の杯（まへ）※（エル）を軽く取る

此処のみじめな VERLAINE《※ルレエヌ》

とまどひしたか、〔UNE《ウンヌ》 BEAUTE(ボオテ)〕、
たとへ虚偽(うそ)でも、浮気(うはき)でも、
わたしの膝にのしかかり、
甘い煙草(たばこ)の口(くち)うつし、
どうして其れが憎(にく)からう。

霰(あられ)、霰、真赤(まつか)な霰、
カスタネツトの降るままに、
執(と)つて、抱(かか)へて、引くままに、
吸ひつく様な、飛ぶ様な
とろける様な一踊(ひとをど)り。

（一九一二年三月七日の夜巴里にて）

青空文庫情報

底本：「スバル」昴発行所
　　1912（明治45）年4月号
※「旧字、旧仮名で書かれた作品を、現代表記にあらためる際の作業指針」に基づいて、底本の旧字を新字にをあらためました。
※底本の署名には、「よさの、ひろし」とあります。
入力：武田秀男
校正：門田裕志
2003年1月23日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

MONICO

與謝野寛

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　https://aohelp.club/
BiliBili　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/